

No. 6

東京の海を活用する 環境親和型海洋発電技術展開事業

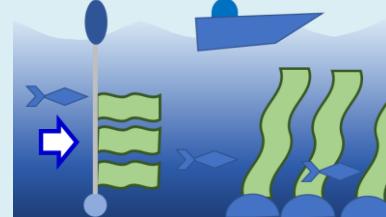
1.1 億円程度
(事業期間3年間)

環境親和性、メンテナンス性の高い振動誘起循環流を基盤とする発電技術をハイブリッドに活用しカーボンニュートラルを実現可能な技術を東京の海に展開することにより、カーボンフリー東京を目指す。

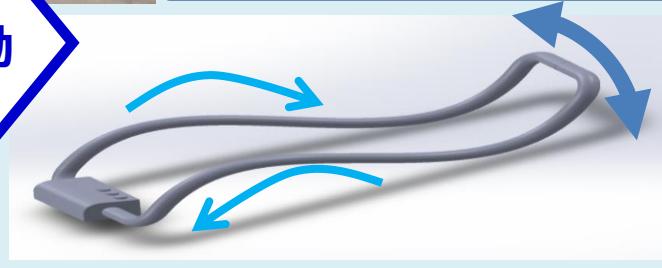
風、潮流、波



流れ



振動



振動誘起循環流(VIC Flow)

- 自然の流れのエネルギーを自励的な振動フラッタ現象で増幅
- 振動をしなやかな管振動誘起循環流に変換発電
- 海に優しい、魚に優しい、人に優しい分散型電源

発電

カーボン
ニュートラル

循環型社会

災害対策

- **環境親和性の高い分散型の次世代型技術による海洋発電技術を展開可能な東京に**
 - 広大な東京都の海（排他的経済水域は国内の約4割）において、潮流や波力などの海洋エネルギーをシートの振動を介して振動誘起循環流に変換し発電を行う。
 - 海洋生物に優しく、高いメンテナンス性を有する、海に寄り添った環境親和性の高い分散型の技術として、地域の特性や環境に配慮した導入ができるように地域と連携する仕掛けとともに社会実装を進める。

事業実施による効果

- カーボンニュートラルを目指しカーボンフリー東京の実現。
- 安定した電源により防災対策として諸島部に安心と安全を提供する。